

新たなフェスティバル「Live! 横浜」の開催について

音楽を中心にダンスやスポーツ、アニメコンテンツなどの多様なジャンルを一体的に組み込み、発信力のある民間イベントと連携したコンテンツや公共空間等を活用した街なか展開、そして、次世代育成・市民参加の取組などを有機的につなぎ合わせ、より多くの市民の皆様楽しんでいただくとともに、まちのにぎわい創出や回遊促進に取り組むフェスティバルを開催します。

1 開催概要

- (1) 事業名
Live! 横浜
- (2) 開催期間
令和6年11月9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）の4日間
- (3) 主催
横浜アーツフェスティバル実行委員会
- (4) 共催
横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
- (5) ジャンル
音楽を中心としたライブエンターテインメント
（ダンス、スポーツ、アニメコンテンツ等を含む多ジャンル）
- (6) 会場
都心臨海部エリア

2 コンセプト

- (1) まち全体がライブで躍動する
～横浜の魅力を発信し、多様な主体と共に、にぎわいをつくります～
- (2) 横浜らしいオープンスペースで驚きと感動に会う
～横浜ならではの海と空の景観を活かし、新しい体験の場をつくります～
- (3) 未来につなぐ、未来を育てる
～未来を担う人々のチャレンジを応援し、誰もが参加し楽しめる場をつくります～

3 フェスティバル展開イメージ

「デイトタイム」と「ナイトタイム」に分け、以下の通り、それぞれの時間帯で取組内容やターゲットを変えます。

デイトタイム		ナイトタイム	
(1)	音楽を中心に多彩なジャンルと連携	(1)	アリーナなどの音楽施設との連携
(2)	公共空間等を活用し、気軽に楽しめる場づくり	(2)	「驚き」と「感動」の発信力あるコンテンツ
(3)	子ども・子育て世代へのターゲティング	(3)	“音楽のまち”としてのブランディング
(4)	音楽があふれるまちを実現し、祝祭感を醸成	(4)	回遊促進、ナイトタイムエコノミーの活性化

4 主な事業（※現在調整中のため、今後変更となる場合があります。）

(1) 民間イベントとの連携

フェスティバル開催期間中に実施される予定の以下の民間イベントと一体的に取り組みます。

ア 音楽フェス【ぴあアリーナMM】

ぴあ株式会社主催の音楽フェスが実施されるとともに、フェスのサテライトステージ（ナイトタイム）として、公共空間・オープンスペースを活用したコンテンツを展開します。

イ 大規模アーバンスポーツイベント【赤レンガパーク】

日本最大級のアーバンスポーツイベントが開催され、世界大会メダリスト等が多数登場し、トップレベルのパフォーマンスを披露します。

また、「パリ 2024 オリンピック」で正式種目化されるブレイキンなどは大会終了後の更なる盛り上がりが見込まれます。

ウ 野外音楽フェス【赤レンガパーク】

歴史的建造物である横浜赤レンガ倉庫の港湾緑地で若者に人気の高い野外音楽フェスが開催され、海外アーティストも登場。数万人規模の来場者が訪れ、夜まで盛り上がり見込まれます。

エ 高校吹奏楽の全国大会【横浜みなとみらいホール】

毎年横浜で開催される決勝大会に全国の子どもたちや応援団が集まります。

オ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会第 400 回【横浜みなとみらいホール】

横浜を代表するプロオーケストラである、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の記念すべき節目の定期演奏会が 11 月 16 日に開催されます。

カ ナイトイベントとの連携

横浜らしい夜を楽しめる企画と連携し、回遊性の向上を図ります。

(7) 周遊型ナイトタイムイベント

ナイトタイムを中心に、街なかで音楽を感じながら人気観光スポットや周遊モビリティなどを楽しめるコンテンツが展開されます。

(4) 横浜スパークリングトワイライト

フェスティバルの開催に合わせて打ち上げられる 5 分程度の短時間花火と連携することで、来街者の滞在時間延長につなげます。

(2) 街なかステージ

ア ステージ概要

「次世代育成」「市民参加」「民間イベントの盛り上げの波及」をテーマに公共空間・オープンスペースを活用した「Live! 横浜」ならではの街なかステージを以下の通り、設置します。

【候補会場（8か所）】

会場	ステージコンセプト
グランモール公園 美術の広場	横浜を代表する都市公園において、子どもから大人まで誰もが楽しめるプログラムや飲食・体験ブースを展開し、滞在性を高めた空間に。
JR 桜木町駅前広場	多くの来街者が通る立地を活かし、ステージを設置。音楽ライブを中心としたコンテンツで出迎えます。
ランドマークプラザ サカタのタネ ガーデンスクエア	360度・5フロアにわたり、ステージを観覧できる施設デザインを活かし、会場装飾に合わせた特別感のあるステージに。
クイーンズスクエア横浜 クイーンズサークル	みなとみらい駅直結の商業施設で子どもたちの活躍を応援するなど、次世代育成の取組を実施。
クイーンズスクエア横浜 クイーンズパーク	観覧車を目の前に、カフェのオープンエリアも広がる滞在性の高い空間でゆったりとパフォーマンスを観覧できるステージ。
運河パーク	桜木町から横浜赤レンガ倉庫の動線上に位置し、商業施設や YOKOHAMA AIR CABIN にも隣接。みなとみらいのビル群と水辺を背景に、コンテンツを展開。
グランモール公園 円形広場	日頃から大道芸などでにぎわい、階段に座る観客が演者を取り囲むことで一体感が感じられる空間を活かしたステージ。
日本丸メモリアルパーク	帆船日本丸を背に、横浜らしい景観を活かした開放感あふれるステージ。

イ 街なかステージで開催されるコンテンツ

様々な主体と連携し、多彩なジャンルを取り込みながら、街なかステージのコンテンツを創出します。

(7) 音楽

○野外音楽フェス【赤レンガパークとの連携】

赤レンガパークで開催される音楽フェスと連携し、音楽フェスとの一体的な会場装飾やパフォーマンスコンテンツを創出します。

○高校吹奏楽の全国大会【横浜みなとみらいホールとの連携】

大会に出場した子どもたちがそのままクイーンズスクエア横浜クイーンズサークルに設置するフェスティバルの街なかステージに登場し、演奏を披露します。

○横濱 JAZZ PROMENADE

昨年に 30 周年を迎え、毎年 10 万人を超える来場者実績を持つ、横浜ならではのジャズフェスティバルと連携し、街なかでの本格的なジャズの演奏を行います。

○横浜ライブエンターテインメント協議会 (Y. LEA)

横浜のライブエンターテインメントに関わる音楽事業者等で構成される団体によるステージコンテンツを実施。様々なジャンル・年代に届くスペシャル企画ライブを展開します。

(イ) ダンス

○日本高校ダンス部選手権

夏に開催される高校ダンス部の全国大会と連携し、決勝大会に出場した市内の学校を中心に、街なかでのダンスパフォーマンスのステージを実施します。

○カレッジフラ・コンペティション

日本初の大学生フラダンスの全国大会としてスタートしたイベントと連携し、出場した大学生チームのパフォーマンスのほか、子どもたちや大人も出演することができるステージを実施します。

(ウ) アニメ

○アンパンマン

横浜アンパンマンこどもミュージアムとの連携により、子どもたちに大人気のアンパンマンによるステージショーを街なかのステージで実施します。

○プリキュア

2023年に20周年を迎え、世代を超えた人気作品であるプリキュア。シリーズ最新作のステージショーを実施します。

(エ) スポーツ

○大規模アーバンスポーツイベント【赤レンガパークとの連携】

街なかステージにおいて、赤レンガパークで開催されるイベントと連携し、出演者によるパフォーマンスや子どもたちのアーバンスポーツ体験を実施します。

○プロスポーツチームとの連携

横浜市を本拠地として活動するスポーツチームと連携し、子どもたちのスポーツ体験やチア体験を行うとともに、プロチアリーディングチームによるパフォーマンス等のステージを実施します。

(オ) 市民参加・次世代育成

○公募アーティストステージ（音楽・ダンス）

市民が主役・主体となって、横浜の街を盛り上げる、公募型の音楽・ダンスパフォーマンスステージを実施します。

○TOUCH & TRY

ヤマハの楽器体感イベント「TOUCH & TRY」を実施し、子どもから大人まで、憧れの楽器に触れて、音を楽しむことができる体験機会を創出します。

○横浜市消防音楽隊による中学校吹奏楽部ワークショップ&演奏会

横浜市消防音楽隊が、市内中学校吹奏楽部を訪問指導するほか、横浜市民防災センターで合奏練習を行います。また、中学生と横浜市消防音楽隊が街なかステージで共演し、ワークショップの成果を披露します。

○中学・高校ダンス部ワークショップ&発表会

ヒップホップなどのプロダンサーによる事前ワークショップを赤レンガ倉庫を活用しながら行い、その成果を街なかステージで発表します。

(3) Music Port YOKOHAMA 連携ステージ

Music Port YOKOHAMA (※1) の事業の一つである「みなとみらい STREET MUSIC」(※2) と連携し、街なかステージと合わせて、「音楽があふれるまち」の実現を目指します。

- ※1 多様な音楽施設の集積を生かし、音楽を軸とした環境を整備することにより、横浜を音楽の街として活性化する取組
- ※2 みなとみらい21地区で実施する、様々なジャンルのアーティストと会場（商業施設、ホテル、公共空間など）をつなぎ合わせ、ライブパフォーマンスを行う事業

5 地域との連携

フェスティバルと郊外部をつなぐ取組に対する支援を通じ、地域との連携を進めます。

6 今後のスケジュール

6月～7月上旬 「Live! 横浜」開催概要の記者発表
公募による市民参加ステージの出演者募集
次世代育成ワークショップの参加者募集

11月 「Live! 横浜」開催